

ひとりぼっちのメダカさん

プロジェクト名	大きいりす 2月		
日付	2025年 2月 6日	記録者名	日熊
園児			
本日のねらい・内容	<p>実は、大きいりす組の部屋にはメダカがいます。始めは10匹くらいいたのですが、だんだんいなくなり今では1匹に。水槽の中でひとり寂しく過ごしていました。じっくり水槽を覗いてみると、むむむ！なんか白いモヤモヤが。水の中に生息していました。これは綺麗にしないといけないと思い、作業開始。思い立ったらすぐ行動する私、子どもの前でメダカの移動を始めました。</p>		



すると、興味を持った子どもたちが集まってきました。「これ、水が冷たすぎてびっくりするかなあ？」と聞くと、「うん。びっくりすると思う。」と言うので少しお湯を足していい温度に。その中にメダカを移してあげました。「エサ食べてる。」と観察が始まりました。

確か大きいクラスさんにメダカの本があったはず！とみんなで借りにいくことにしました。ちょうど石川がいたのでどこにあるか聞き、「緑のシールが貼ってある本の中にあると思う。」というヒントを頼りに自分たちでメダカの絵本を探し出しました。部屋に帰ってメダカの前で開きます。



本の中にはたくさんのメダカたちと泳いでいるメダカがいます。「なんか1人で寂しそう。」と言う子どもたちの声から、仲間を作ってあげようか、と折り紙で仲間作りが始まりました。しかし、作ったメダカは水の中に入れるわけにはいきません。どうしよう・・・。

そこで段ボールの水槽を用意してみました。いつも遊びの中でも使っている草もお借りして、メダカの水槽を再現し、自分たちの作ったメダカをその中に泳がせて完成。仲間を作ってあげたいと言う子どもたちの優しい気持ちを形にすることができました。

成長の視点	
今後の展開	